

福島市 公共施設等 総合管理計画

[概要版]





公共施設等の老朽化対策を推進します

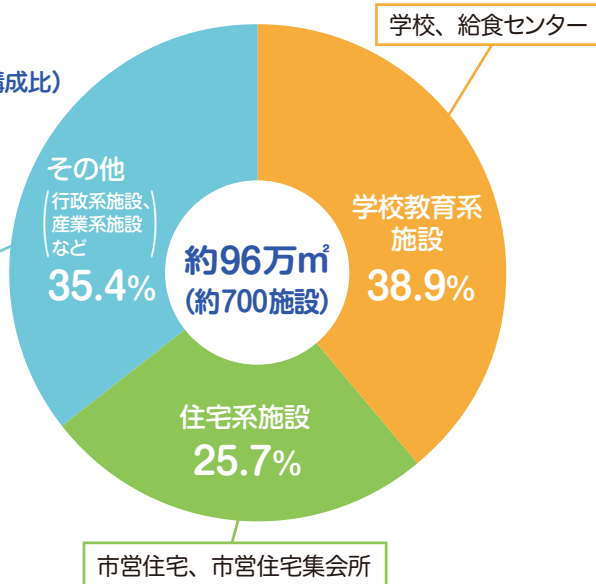
公共施設やインフラ資産の老朽化が進み、今後一斉に建替えや改修の時期を迎えます。しかし、これらの施設をすべて現在の規模のまま維持していくことは極めて困難な状況です。

そのため平成29年2月に「福島市公共施設等総合管理計画」を策定し、将来を見据えた長期的な視点により公共施設等のマネジメントを推進します。

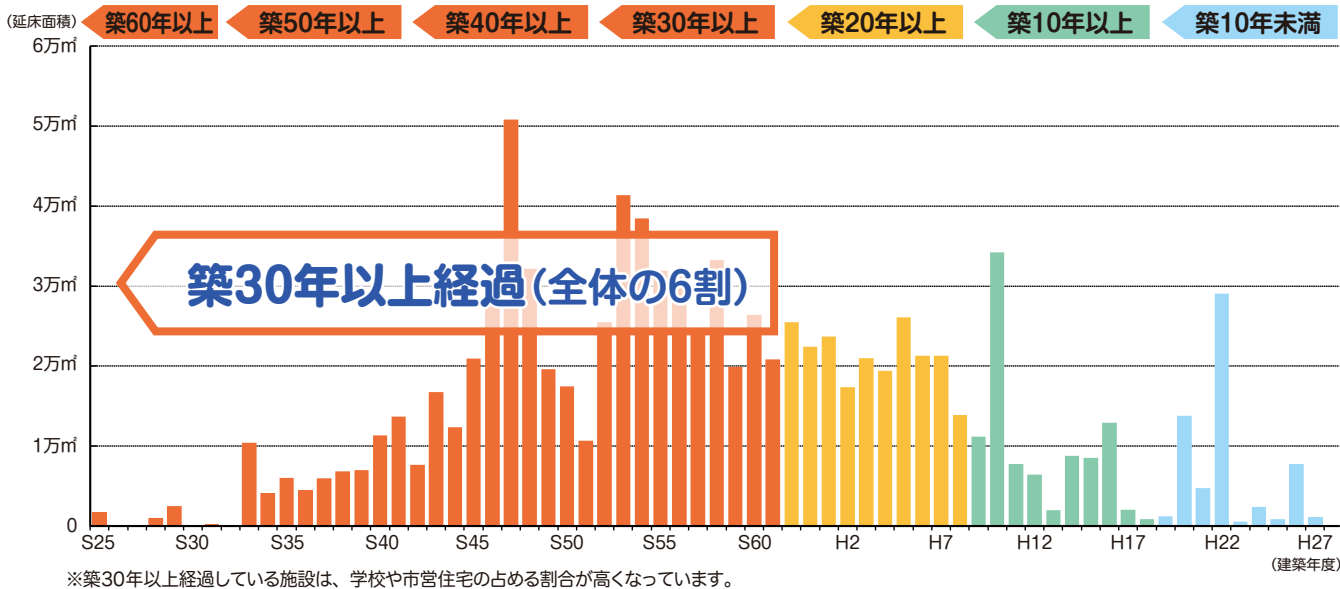
1-1 公共施設(建物)の整備状況

保有数量と施設分類別延床面積(構成比)

- 市民会館
- 学習センター
- 体育館
- 卸売市場
- 保育所
- 保健福祉センター
- 市庁舎
- 御倉邸
- クリーンセンター
- 斎場など



1-2 公共施設の建築年度別整備状況



2 インフラ資産*の整備状況

*道路、橋梁、上下水道施設といった生活や経済活動の基盤として整備される施設のこと。

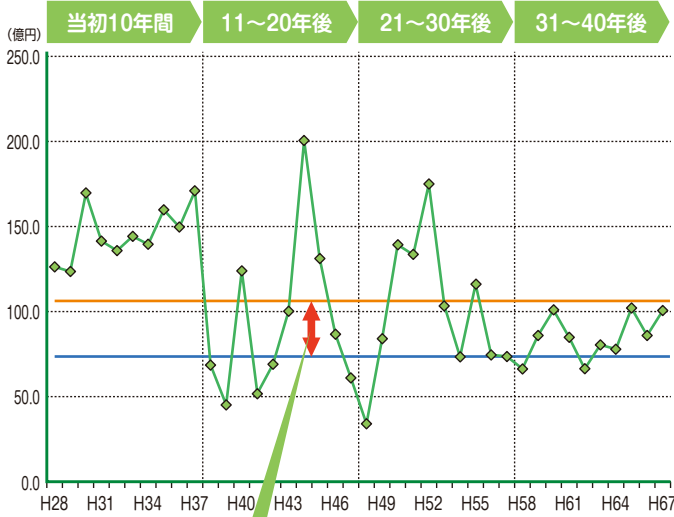
施設分類	面積	延長
道路	約1,591万㎡	約3,411km
橋梁(1,136橋)	約11万㎡	約16km
上水道施設	-	約1,606km
下水道施設	-	約1,063km

たとえば…
福島市が整備した道路の総延長は、日本列島の距離とほぼ同程度となります。

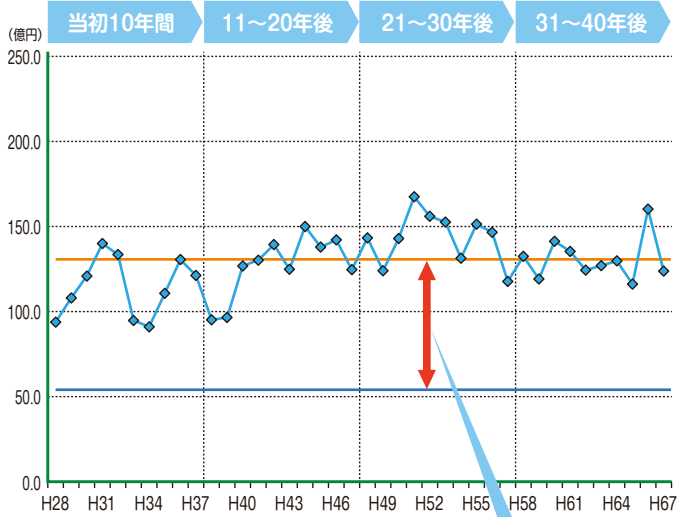


3 公共施設、インフラ資産の改修・更新に係る将来費用の見通し

公共施設の改修・更新に係る費用



インフラ資産の改修・更新に係る費用

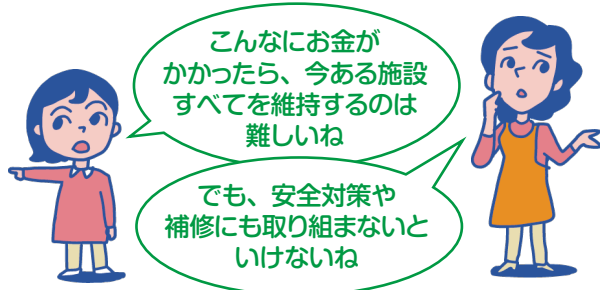


公共施設

過去5年間の投資的経費
年平均**80億円**

40年間の更新等費用
年平均**107.4億円**

年間約27.4億円の不足!



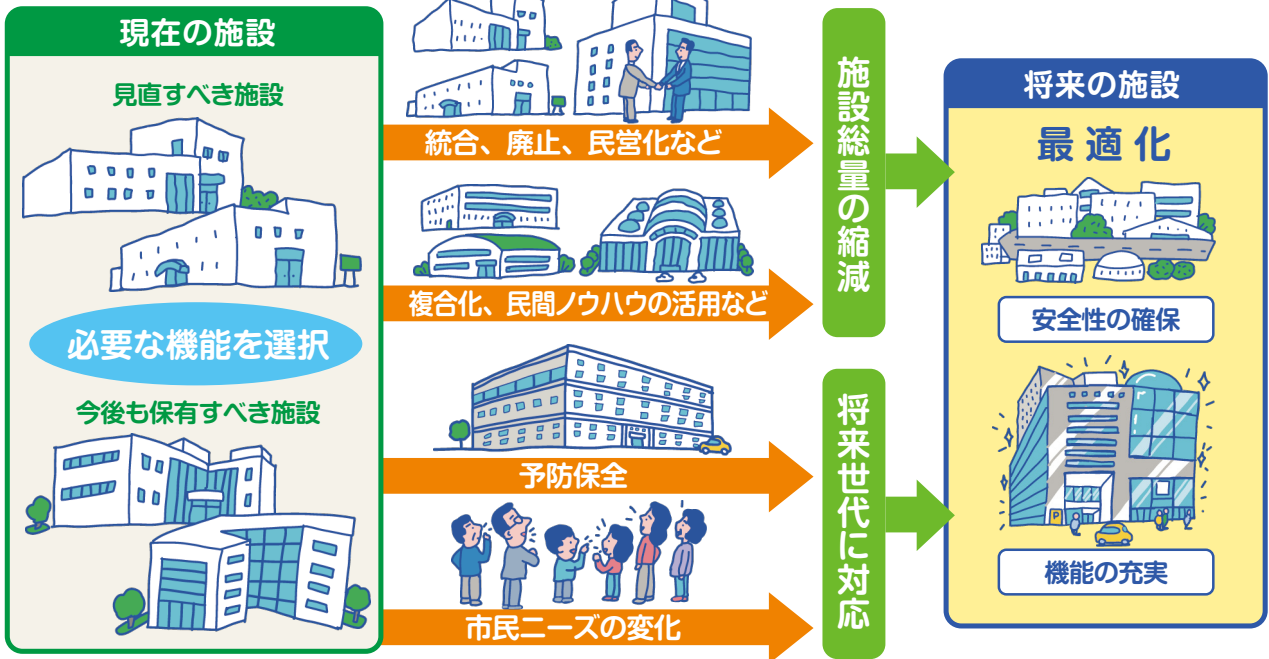
インフラ資産

過去5年間の投資的経費
年平均**55.9億円**

40年間の更新等費用
年平均**130.2億円**

年間約74.3億円の不足!

4 計画の展開イメージ



いつでもおいしく
安心して飲めるといいね

古い水道管は計画的に交換し、
安心して利用できるようにします。

これからの福島を みんなで考えよう!

子どもや孫に大きな負担を残さず、
魅力ある施設のあり方を
市民のみなさんと共に考えていきます。

使われていない
部屋があるけど、
他に使えないかな

たとえば保育施設やデイサービスの機能を使われていない
部屋に導入。子どもと高齢者の
交流が盛んになりました。

耐震補強や予防保全に
より、安心してわたれる
ようにします。

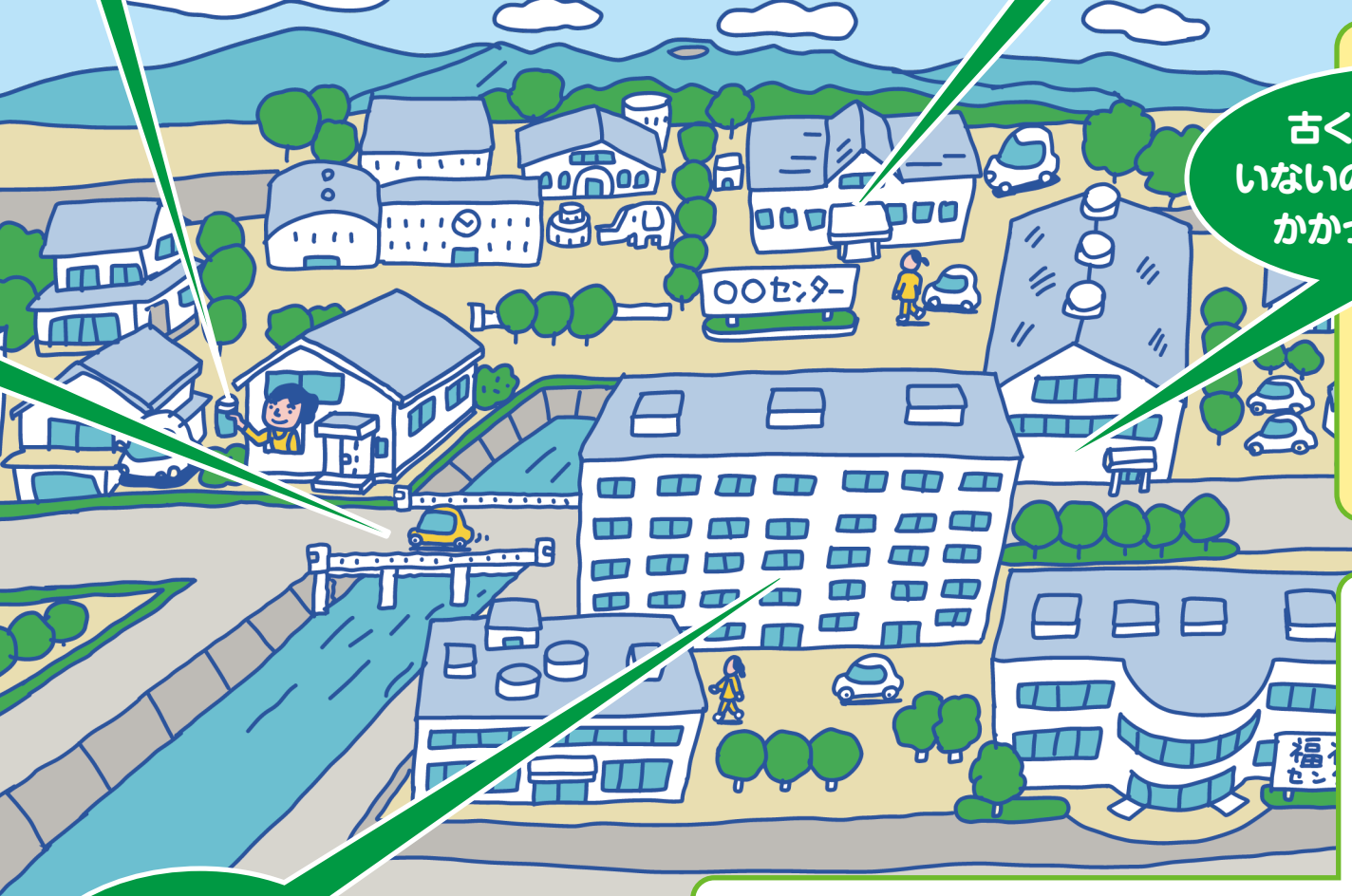
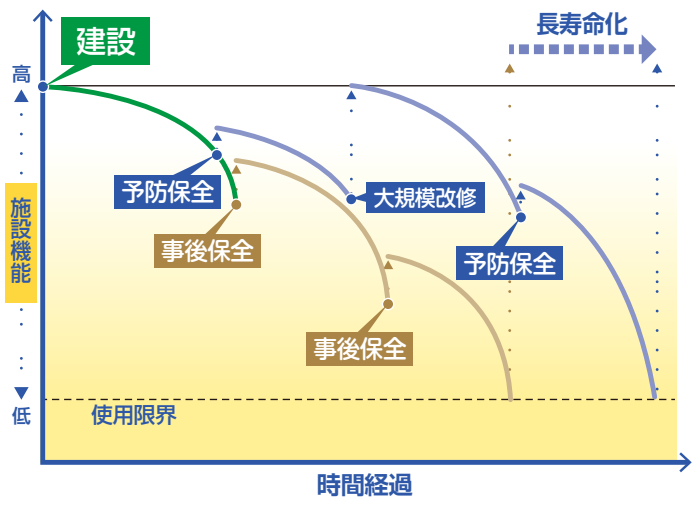
古くて通るのが
心配だなあ

古くて使われて
いないのに、維持費が
かかっているよね

古い施設を廃止して、周辺
地区の同じ施設を使用する
ことでコスト削減を図ります。

「予防保全」をする事で、
機能の維持と安全性の
確保を図りながら
長期利用を進めます

予防保全	事後保全
施設の損傷等が生じる前に 予測して対処する	施設の損傷等が生じ、 不具合が出てから対応する



利用中に
地震がきても
大丈夫かなあ

できるだけ長く、安
心して利用できる
ように、計画的な
耐震化や長寿命化
を進めます。

施設の集約と利用の効率化

統合
同じ機能を一つの施設に集約
(施設規模や数を縮小)

複合化
異なる機能を一つの施設に集約
(施設規模や数を縮小)

転換
余剰施設の機能を取りやめ、
異なる他の機能を導入

福島市公共施設等総合管理計画

目的

公共施設等の老朽化に対する基本的な考え方を示し、今後の計画的な取り組みにつなげるもの。

対象

公共施設(建物)及び
インフラ資産(道路、
橋梁、上下水道)

期間

平成29年度～38年度(10年間)

基本方針

1 経営的視点による総合的かつ計画的な管理

保有する施設を市全体として捉え、必要な機能を選択

2 施設総量の縮減

①施設の統合、複合化、廃止等による配置等の見直し

統合 同じ機能を一つの施設に集約する(施設規模や数を縮小)

複合化 異なる機能を一つの施設に集約する(施設規模や数を縮小)

転換 余剰施設の機能を取りやめ、異なる他の機能を導入する

②災害時に必要な機能の確保

③新規整備の抑制(ただし、社会情勢の変化等により新たな需要に応える場合は、複合化等により施設の総量抑制を図る)

3 ライフサイクルコストの縮減と平準化

①予防保全・長寿命化

②効率的な施設等の管理運営(PFI等民間ノウハウの活用など)

4 全庁的な公共施設等マネジメントの推進

庁内推進体制の強化

縮減目標

公共施設(建物)

今後40年間で必要となる
更新等費用の10%縮減

インフラ資産

個別計画に基づき、
予防保全や長寿命化等に取り組み、
更新等にかかる将来費用を縮減

問い合わせ先

福島市 財務部 財産マネジメント推進室
〒960-8601 福島市五老内町3-1 TEL024-563-3093

※本計画の内容は福島市ホームページでもご覧いただけます。

福島市 公共施設等総合管理計画 検索